



KCP新聞

2014年 1月号

アジアの各地で

きゅうしょうがつ

旧正月

世界各地から学生が集まる KCP。今月号は新聞部の記者が各国の旧正月の様子を紹介します。

中国南部では魚

中国で最も重要で最大のイベントと言えば春節だ。その日は朝早く起きて、新年の挨拶のため、出かける習慣がある。ところで、みなさんをご存知だろうか。実は春節を過ごす伝統的な習慣は土地によって違う。例えば、春節と言えば「餃子」と思う人が多いと思うが、南にはあまりない。南の方では、大晦日の食卓には十数種類の料理が出るが、その中で魚は欠かせないものだ。それは、魚の発音が「富裕」という意味を表すからだ。また、昔から春節を祝うのに、人々が

爆竹を鳴らす習慣があったが、近年、中国都市部では爆竹や花火による火事が頻繁に発生するなどの理由で規制されるようになった。その他、今中国が生活レベルの上昇に伴い、過ごし方も変化してきている。例えば、春節に海外旅行に行くのが一種の流行となっている。ちなみに、私はおとといの春節に母と二人で日本に旅行に来て、それをきっかけとして、日本に留学することになったのだ。



(M53 ラ リンバイ)

ぎょうざ

中国北部では餃子

中国では、また新年が近づいてきた。私は今異郷で、国の新年をしみじみと思い出す。私の家は北方なので、今は最も寒い時期だ。みんな、一番厚いオーバーを着て、新年を迎えるために街を歩き回って、新しい服や贈り物、爆竹や食器や張り紙などを買っているだろう。

昼には家族や親戚のみんなはプレゼントを持って集まってくる。大人たちは子供達にお年玉をやったり、ギョーザを作ったり、お茶を飲みながら、大晦日の特別な番組を見たりしている。夜になると窓を開けると花火が見えたり、爆竹の音が聞こえたりと、気分が高まってくる。この光景を見ると毎年のことだが、驚かされる。私が一番楽しみなのは、ギョーザを食べることだ。ギョーザを作っているときにコインを入れる。コインがあるギョーザを食べた人は縁起がいいのだ。もしあなたが、とてもにぎやかな雰囲気を感じたければ、ぜひ中国へ来てほしい。

(M41 タレイア)



新年の前日には、皆朝早く起きて「福」と書いてある張り紙をドアに貼ったり、爆竹を鳴らしたり、お客様のための飴や落花生などを準備したりする。

韓国ではトック(おもちのスープ)

韓国は旧暦1月1日が正月です。ときどき西暦の1月1日にすることもあります。正月には亡くなった先祖にお祈りの儀式をします。お酒、肉、魚、くだもの、伝統料理を持って、寺へ行きます。そして【トック(もちのスープ)】を食べます。

【トック】は日本の雑煮に似ています。トックを食べると、もう一歳年をとったという意味です。そして家のおとなに幸せと健康をお祈りするおじぎをします。おとなは子どもにお金をあげます。日本のお年玉と同じです。

(写真は A13 ノ・スンファン記者が作った「トック」)



韓国の儀式と遊び

韓国で今年のお正月は1月31日でした。韓国のお正月は3連休ですが、今年は連休のあとがすぐ日曜日なので、4連休になりました。だいたい、当日の前の日に家族みんなが集まって、一緒に肉まんを作ったり、ジジミと言う伝統料理を焼いたりしながら、いろいろな話をします。そのように準備をして、当日には朝早くから起きて、チャレと言う儀式をします。それが終わると準備した料理を食べます。



いろいろな正月料理がありますが、その中でもトックは韓国のお正月を代表する料理です。トックは中にもちや野菜、玉子、肉、肉まんなどを中に入れますから、トックマンチュクックと言う言葉でも呼ばれます。これを日本語で直訳すれば「もちスープ」「もちまんじゅうスープ」と言う言葉になりますね。食事の後は上の人に拝むあいさつをします。上の方は幸せを祈る話をして、お年玉をあげます。子供たちは両親の兄弟が多いほどたくさんもらえますね。あいさつが終わったら、いろいろなゲームをします。



ユッノリ、花札、板跳びなどをしますが、最近は花札以外はあまりしません。花札をするとき、細かいお金を賭けるので、子供が勝つ大人のそばに座っていたら、どきどきこづかいをもらう場合もあります。花札をするときには父も、母も、兄弟も関係なく、皆が真剣にするので、変なことをしたらだめです。(笑) そして午後、他の家に行って、あいさつをして、夜ご飯はそこで食べて、花札をしたり、話をしたりしながら久しぶりに会ったよろこびを分け合います。そして最後に家族や恋人、友たちと会って残った休み過ごします。



(M31 オム ジェヨン)

ベトナム正月(テト)を知っていますか？

時間があったら、ぜひ正月にベトナムを訪れてほしい。きっとベトナムの文化を知ることができるだろう。ベトナムは旧暦で正月を迎える。正月の一週間ぐらい前から人々は、家を掃除したり、きれいに飾ったり、食べ物や花などを買ったりいろいろ準備する。また、一年間、一生懸命働いて年末に新しい道具やバイクや服を買う。それはとても忙しいが、楽しい時間だ。1年の最後の日に皆で集まって、楽しく忘年会をする。それから亡くなった人の墓へ行く。それは亡くなった人を正月の食事に誘い、一緒に新年を祝うためだ。

ベトナムの正月の花の代表といえば、桃の花だ。春になれば桃の花がきれいに咲く。桃はたいていの家にある。そして、大晦日は古い年から新年に変わるので、神聖な意味を持つ。人々は家族や友達とお寺や花火に行く。ベトナム人が初詣に行く習慣は日本人と同じだ。

昔から正月の3日のうち、1日が父の正月、2日が母の正月、3日が先生の正月だ。つまり、1日が父方の親戚の家へ行って、2日は母方の親戚の家、3日は教えてもらった先生の家へ行くのだ。



正月にはたくさんおいしいものがある。例えば「バンチエン」や春雨や春巻きなどだ。「バンチエン」とは、もち米の中に肉や豆が入った四角い形に包んだごはん。昔は正月だけ食べられた。今は普段でも食べられるが、正月のより形が小さい。それはこの正月料理には豊かに生活できるようにという願いが込められているからだ。

このようにベトナムの正月は誰もが笑顔になる楽しい時間だ。(M52 ヴァーティ ヴァン アイ)

MS1 ^{さいせいらい} 崔静雷さん

^{ひとつばしだいがくだいがくいん} 一橋大学大学院 ^{しょうがくぶ けいえいがくしゅうし かてい} 商学部経営学修士課程

受験シーズンもいよいよ追い込み。
KCPの先輩達もがんばって、すばらしい結果を出しているの、紹介します。



どうしてこの大学へ? 国では日本語学科に在籍していて、メディアの学位はとりました。けれど、新しい分野を学びたいと思いました。この大学は有名ですから知っていましたが、3年前交換留学生で日本にいるときに一橋大の文化祭に行って、興味を持ちました。

勉強方法 ニュースを読んだり、自分の専門の書籍を読んだりして知識をつけました。(新聞・業界のニュースなど) 目標を持ってそのための本を読むことは大切です。夏休みなどは図書館で論文用に勉強しました。毎日続けることが大切で、3月から1日5時間勉強しました。

役に立ったことは? 学校を情報を得る場所と考え、先生に積極的に相談して、いい結果が出せたと思います。



^{せかいぶんか いさん} 世界文化遺産にも登録!
^{とうろく}

「和食 ~その4つの魅力~」



「和食」と聞くと最初に頭に浮かぶイメージは何だろうか。それぞれの国の人によって違うイメージがあると思うけれど、どんな国の人でも和食は知っているのではないかと。政府の支持で日本料理アカデミーが始めた運動のおかげで、和食は予約2013年12月5日にユネスコ(UNESCO)の無形文化遺産に登録されることが決定した。これで、和食は22番目の日本文化遺産となる。以前には能や歌舞伎などが登録された。登録申請に政府は和食の特徴として以下の4点を挙げている。最初は「多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重」。簡単に言えば、和食には多様性があり、材料と材料が持っている味を尊重しているということだ。二番目は「栄養バランスに優れた健康的な食生活だ」。単純に言うと和食は体にとってもいい。次に和食にはこういう特徴がある。「自然の美しさや季節の移ろいの

表現」。要するに和食は自然の美しさや四季の変化が表せるということだ。最後の特徴は



「年中行事との密接な関わり」だ。簡単に説明すれば、和食は年中行事、例えば祭りなどに非常に深い関係がある。

この特徴を読んで、和食は本当に魅力的だと思わないだろうか。ユネスコも以上を認めて、無形文化遺産に登録した。以上の点でユネスコが和食は社会的連帯の力があると信じている。KCPの皆さんは今日本にいて、和食を経験する絶好のチャンスなので、皆さん、ぜひこれからユネスコに認められた無形文化遺産「和食」を経験してください。(M52タセン イスラム)